

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果
(保育所等)

1 評価機関

名 称	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク
所 在 地	船橋市丸山2丁目10番15号
評価実施期間	令和7年7月29日～令和8年1月30日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	船橋市立千鳥保育園 フナバシシリツチドリホイクエン		
所 在 地	〒273-0004 千葉県船橋市南本町13-1		
交通手段	JR線 船橋駅 徒歩20分		
電 話	047-431-5061	FAX	047-431-5068
ホームページ	https://www.city.funabashi.lg.jp		
経 営 法 人			
開設年月日	昭和28年4月20日		
併設しているサービス			

(2) サービス内容

対象地域	船橋市内							
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	
	9名	32名	43名	43名	43名	43名	213名	
敷地面積	1921.53㎡			保育面積		1371.79㎡		
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育	
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援	
健康管理	身体測定(毎月)・健康診断(年2回)・歯科検診(年1回)・尿検査・蟻虫検査・視力検査							
食 事	離乳食・乳児食・幼児食・アレルギー対応食							
利用時間	7時～19時							
休 日	日曜日・祝日・年末年始							
地域との交流	地域交流(園庭開放・遊びの会・育児講座)・専門職による相談							
保護者会活動	父母会あり							

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	22	20	42	
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	26	1	1	
	保健師	調理師	その他専門職員	
		2	12	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	利用申込書（認定申請書）と必要書類を船橋市役所保育入園課へ提出	
申請窓口開設時間	9時～17時	
申請時注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・不足書類があった場合、利用調整の対象にならないため、期限に余裕をもって申し込んでもらう。 ・発達に不安がある児については、基本事前に体験保育を実施する。 	
サービス決定までの時間	利用希望月の前々月末までに申込	
入所相談	保育コンシェルジュとして、窓口・電話・メールにて相談を受けている	
利用代金	2号認定…保育料0円 3号認定…保育必要量や世帯の税額による	
食事代金	2号認定…食材材料費（副食費）として月額4500円	
苦情対応	窓口設置	千鳥保育園
	第三者委員の設置	船橋市役所福祉政策課

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>乳幼児期からの豊かな体験の積み重ねが、人格を作っていきます。自分を信じ、人を信じ、この社会に生まれたことを喜びながら家庭と共に幸せに生きていけるように子どもの育ちを支えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども一人ひとりを大切にし、豊かな育ちを援助します。 2. 保護者が安心して仕事や、子育てができるように援助します。 3. 地域の子育てを援助します。
<p>特 徴</p>	<p>乳児クラス、幼児クラス共に異年齢保育を行っています。都心へのアクセスが良く都内へお勤めの方が多く利用しています。広い園庭で子どもたちの柔軟な考えを活かして遊ぶことを大切にしています。また玄関ホールや廊下のゆとりスペースで雨の日でも身体を動かして遊んでいます。登園時や散歩に出かけると、地域の方々が育てている季節の野菜や花々を通しての会話が楽しい温かな地域です。</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>一日のほとんどを保育園で過ごす子どもにとって、保育園は穏やかであたたかく、家庭的で安心してくつろげる場であって欲しいと思います。そして、一人一人が「きょうもいちにちたのしかったね。またあしたもほいくえんであそびたいな。」と心から思える保育園を目指したいと思います。</p> <p>一人の人間として育っていく子どもたち。自分で考え、主体的に行動できる人・夢を持ち、さまざまな事に挑戦する人・人の心の痛みがわかり、豊かな人間関係が築ける人・自分の意見を持ち、正義を貫く人。</p> <p>そんな大人になって欲しいと願い、生きていくうえで必要な力を育んでいきたいと思っています。</p>

福祉サービス第三者評価総合コメント 船橋市立千鳥保育園

特に力を入れて取り組んでいること
<p>子ども発信の遊びが広がる保育環境を整え、職員が見守り、豊かな学びを育んでいる</p> <p>職員は日々学び合いながら、常に「子どもにとってどうか」という視点を基盤に保育を行っている。よく遊ぶことが多様な学びにつながることを踏まえ、安心して遊び込める環境を整え、子どもの主体性を尊重しつつ試行錯誤する姿を丁寧に見守っている。また、興味・関心を的確に捉え、発達を見通した環境構成や援助を工夫し、子どもの思いの実現につながる関わりを実践している。3歳以上児クラスでは、子ども発信のハロウィン遊びが準備から当日のパーティーまで発展し、協力して目的に向かう経験を通して達成感を味わった。こうした主体的・協働的な遊びの積み重ねが、豊かな学びと育ちに寄与している。</p>
<p>発達段階に応じて園庭を活用し、子どもの主体的な遊びを保障している</p> <p>園では、0～2歳児と幼児クラスが時間を分けて園庭を利用し、発達段階に応じた安全で自由な遊びの環境を整えている。歩行が未完成の子どもには、保育者が抱きかかえながら風や季節の変化に気づけるよう語りかけ、歩行が安定すると探索活動が十分に保障される。幼児は自らの興味に基づき活動を選択できるよう、時間・空間・仲間が確保され、鉄棒や登り棒などへの挑戦も見られる。遊びに参加しにくい子どもには、保育者が必要に応じて即時に支援できる体制が取られている。園庭での活動を通して、基礎体力、主体性、協同性、思考力、自然への関心など、多様な非認知能力が育まれている。</p>
<p>子どもの安心・安全を守る組織的な健康管理体制を構築している</p> <p>子どもが健康で安心して過ごし、「明日も保育園に行きたい」と思えることを最も重要な保護者支援と位置づけている。そのため、重大事故の予防や感染症拡大防止に重点的に取り組んでいる。誤嚥・誤飲・アレルギー事故については日常的に点検を行い、担任と看護師が子どもの普段の様子を共有しながら健康管理を進めている。感染症対策では、手洗い、咳エチケット、防護具の適切な使用、環境整備を徹底している。嘔吐物処理については、感染の有無にかかわらず感染源となり得るとの共通理解を職員間で持ち、適切な対応により拡大防止を図っている。</p>
<p>保育理念の実践を支える風通しの良い職場を構築している</p> <p>職員は保育理念・目標を基盤に、子どもの姿や保育士の関わりについて日常的に話し合い、共通理解を深めながら保育理念の実践に努めている。会議では意見を述べやすい雰囲気づくりを大切に、互いの意見の違いを尊重しながら多角的に課題を検討している。職員同士が長所を発揮し合い、弱点を補い合う協働体制が整っており、良好なチームワークにつながっている。昼休憩の雑談など日常的な交流を通して相互理解を深め、円滑な人間関係が維持されている。</p>
さらに取り組みが望まれるところ
<p>保育実践の振り返りを通じた援助の根拠づくりと専門性向上を期待したい</p> <p>こどもを真ん中に置いた保育実践について、研修や会議を通して具体的な学びを積み重ねており、職員一人ひとりの意識も高まっている。今後は、日々の保育を振り返りながら、こどもの姿と発達との結びつきを捉える力をさらに育むことが求められる。そのためにも日誌を効果的に活用し、こどもが夢中で遊ぶ姿や興味の広がりを丁寧に記録し、発達との関連を可視化していくことが重要である。こうした積み重ねが、職員の援助の根拠をより明確にし、保育の質を一層高めることにつながることを期待される。</p>
<p>保育現場の一層の負担軽減と今後の体制整備の充実が望まれる</p> <p>ICTツールの導入により、記録業務や保護者への情報配信が効率化され、職員の負担軽減に寄与している。また、保育補助職員を確保し、人手が不足する時間帯の業務を支援してもらうことで、保育の安定運営に大きく貢献している。研修についても動画等を活用し、職員が柔軟に学べる環境が整いつつある。一方で、保護者・職員アンケートからは職員数に余裕がない状況がうかがえ、配慮を要する子どもの増加により1対1の対応が求められる場面も多く、職員の負担増が課題となっている。業務の合理化と保育力向上を進めつつ、職員体制のさらなる充実により、より余裕のある環境整備が望まれる。</p>
<p>(評価を受けて、受審事業者の取り組み)</p> <p>今回、園の運営全体についてのアンケートが初めて保護者に向けて行われたが、保護者の様々な要望から、保育についての発信が弱かったことがわかり、今後意識して伝えていけるよう職員全体で共有し、取り組んでいこうと思った。保護者に対しての情報発信と共に受け止めも丁寧にしていきたい。</p>

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目		
				☑実施数	☐未実施数	
I 福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	0	
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	0	
	2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	6	1	
			4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4	0	
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3	0	
			6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	0	
			7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にを行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5	0	
		職員の質の向上への体制整備	8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4	0	
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	4	1	
			10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3	0	
11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。			4	0		
II 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	0	
			13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	0	
		利用者満足度の向上	14 教育及び保育の質の向上への取り組み	3	0	
	2 教育及び保育の質の確保	提供する保育の標準化	15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	0	
			16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	0	
	3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	0	
			18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	0	
	4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0	
			20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6	0	
			21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0	
項目別実施サービスの質		1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	22 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0	
			23 身近な自然や地域社会と関わられるような取り組みがなされている。	4	0	
		24 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6	0		
		25 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	6	0		
5 安全管理		環境と衛生	26 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	4	0	
			27 家庭との連携が十分図られている。	3	0	
		事故対策	28 地域社会との連携が十分図られている。	3	0	
			29 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	3	0	
		災害対策	子どもの健康支援	30 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3	0
				31 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4	0
6 地域	食育の推進	32 食育の推進に努めている。	5	0		
		33 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3	0		
	事故対策	34 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4	0		
		35 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6	0		
36 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	37	5	0			
	計		157	2		

項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>市の保育理念・方針・目標に基づいて、園の目標は「自分で考えて行動する子、よく遊べる子」、方針は「優しく丁寧にに関わり・・・一人ひとりが力を発揮できるように・・・異年齢保育の中で・・・自分で考え行動し・・・興味や関心・集中力・考える力・自信・学力など基本となる力を6歳までの育ちとして大切にします」と設定し、ホームページや園のパンフレットに記載して、園目標と保育理念を玄関正面に掲示している。職員は新年度会議で共有し、全体的な計画や指導計画に展開して実践する様に努めている。</p>	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保護者には入園時に園のパンフレットで園目標や保育理念を伝え、年3回の保護者会や保育参観、保護者面談を通して、理念や方針に基づく実践についてを伝えている。また、園目標、保育理念は玄関正面の事務所に掲示しており、日々目にすることが出来る。今回の保護者アンケートの園目標や方針について説明を受け知っていますかの質問「はい」回答率は63%であったので、もう少し分かり易く保育目標と保育実践を伝える必要があると思われる。</p>	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>市の子ども・子育て支援事業計画として「子どもの笑顔が輝き、生き生きと子育てできるまち」の基本理念のもとに総合的に市の中長期計画が設定され、子どもの方針では「保育士の確保、第三者評価システムの活用、保育の質の向上アクションプログラム・・・等」親・家庭支援の基本方針、地域・社会の基本方針が設定され計画が実行されている。市の計画に基づいて園では保育の質向上計画、職員確保・育成計画、保護者支援計画、地域連携計画、危機管理計画等設定している。保育内容については全体的な計画を策定し、それに基づいて年間指導計画、月間指導計画、週案、日案へと具体的な計画に展開して、保育実践している。また、新年度会議、毎月の保育会議、各係の話し合いで子どもの姿から課題をあげ、職員の子ども理解から、適切な対応について話し合いを行っている。</p>	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>理念・目標については、子どもの姿、保育士の対応(子ども理解)を会議で話し合い、実践の振り返りを通じて理解を深めている。会議では意見が言いやすい雰囲気を作り、職員のそれぞれの意見を尊重する姿を示し、全員の意見が違っても、率直な意見を発信して、あえて違う視点を持った意見を出し、多角的に課題に向き合う様になっている。また、互いの長所を認め合い助け合いチームワークを大切にしている。園外のような研修をまんべんなく全員が受けられるようにし、受講者が報告し共有する場を設けている。</p>	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>遵守すべき法令・倫理は「市の職員倫理規定」「市の職員服務規程」「全国保育士倫理規定」「市の保育所の法令遵守に関する規定」「市保育所ガイドライン」等があり、研修で周知して、年1回「情報管理チェックシート」で確認し徹底を図っている。</p>	

6	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
<input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。			
(評価コメント)			
<p>昨年度から導入されたICTツールにより部分的には記録や保護者への配信など業務効率が上がっている。保育補助職員を確保し、職員が足りない時間帯で様々な作業を補助してもらい大変助かっている。年5日の休暇以外は、家庭の事情や子どもの事情などやむを得ない場合に取得している現状である。昼の休憩は事務室や休憩室で取り、雑談を通じて保育の相談など情報交換の場となっている。研修は動画など活用し学べる機会が多くなりつつある。職員配置は規定の通りの配置であるが、配慮を必要とする子どもが増え、1:1の対応が求められ場合が多く、職員の負担増となり、余裕のない状態になっている。</p>			
7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント)			
<p>職員の評価は市全体で行う人事評価(業績、能力評価)と保育園の専門評価を基に行っている。個人の目標を立て、期首、中間、期末と3回園長と面談を行い、期末面談の際は、成長した点など評価のフィードバックを行っている。評価が公平に出来るよう市の人材育成室が評価者研修を行い、新任施設長はその研修に参加している。</p>			
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント)			
<p>人材確保の取組は、従来1回のみだった試験を前期枠と後期枠の2回に分けて実施している。また、実技試験および集団討論を廃止し、受験者層の拡大を図っている。採用活動としては、養成校含めた説明会の場を年に数回設け、2~3年目の職員から話を聞ける機会を作り、少しでも興味関心を持ってもらえるようにしている。採用後は就業継続研修への参加の機会を設け、定着の取組をしている。また、実習生の受け入れを市外からも受けるようにし、楽しい学びの場になるようにし採用に向けて働きかけている。</p>			
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	中長期の人材育成計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職種別、役割別に能力基準を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別育成計画・目標を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント)			
<p>市の研修として、新規採用職員研修、3年目研修、昇格時研修、加えて、保育園の研修として5年目・育休明け研修、中堅研修が計画されている。また、27公立保育園全体で6ブロックに分かれ、乳児と幼児のグループで、年3回「子どもの姿から考える」「主体的に遊べる環境」「クラスの保育を考える」等のテーマで話し合い、大学教授の講義を受けている。園では「子どものやってみたいを引き出す」を年間テーマとして継続的に話し合っている。職員は自己評価表の全職員共通と職種別で自己評価し、目標を設定して職員個々が期ごとに振り返り育成を図っている。新規採用職員には、「新規採用職員支援・育成シート」で、同じクラスの先輩チューターが中心となり育成している。</p>			
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	日常の援助では、個人の意思を尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント)			
<p>「子どもの権利」や「不適切保育」に関する研修は市の保育運営課で実施され、園でも継続的に学び合う場が設けられている。会議の場で「子どもの人権とは、不適切とは」等を話し合い、また、チェックリストで確認し徹底している。研修では目に見える不適切行為だけでなく、心を傷つけてしまう「ことば」や「態度」に関しても研修し、全職員が気づける人になるように努めている。チェックリストは個人の自己評価だけでなく、全員で園全体の評価を行い、より目標レベルを引き上げて高めていくことが望ましい。</p>			
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の利用目的を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント)			
<p>個人情報の利用目的等は入園時に同意書を頂いている。職員は守秘義務の誓約書を提出し徹底している。また、個人情報の取り扱いについてのチェックシートを年1回全職員で読み上げ確認している。提出書類のやり取りに関しては受け渡し表を使用し、間違い、紛失等ないように扱いは園全体で注意している。職員は携帯は勤務中はクラスには持ち込まず、行事等の写真がSNSに拡大しない様にお願いしている。</p>			

12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント)			
保護者が参加する行事等に対しては、ICTツールのアンケート機能を活用し、感想や意見を任意で頂く様になり、保護者の様々な考え方に触れる事ができ、改善課題を把握して次年度に活かしている。今回は第三者評価の保護者アンケートを実施したが、利用者満足を確認すると、感謝の声と同時に様々な改善要望が寄せられているので、全職員で共有し課題に取り組むことが望ましい。課題の原因の多くは人手不足と思われるので、その解消が期待される。今後園でも年1回は全般的な保護者満足調査を実施することが望まれる。			
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント)			
苦情解決制度はポスターを玄関横の掲示板に貼り、担当職員名を明記している。相談や苦情があった際は、迅速に対応し、確認や調査が必要な案件に対してはしっかり調べ課に相談する等、丁寧且つ慎重に対応している。日常的に保護者には園側から一声かけ意見が言いやすい様に努めている。			
14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)			
自己評価については、各職員が人事評価記録書に年度当初目標を立て、中間、期末で反省及び課題を出している。実践内容については評価の中に具体的な内容項目があり、PDCAサイクルを継続しやすくなっている。園長は評価記録書の確認及び面談をおこない、日々の中では子どもへの関わり方など、気づいたときにタイミングを見て個別に話す機会を作るようにしている。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント)			
マニュアルについては、船橋市の保育ガイドラインがあり、業務の基本や手順が明確になっている。また、マニュアルについてはいつでも見られるように事務室内においてあり、新人職員の育成時や年度当初に確認するなどしている。アレルギー対応や安全マニュアル、緊急時の対応等については年間を通して必要な対応訓練をおこない活用している。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント)			
園についての問い合わせ及び見学についての情報は、ホームページに掲載している。対応は主に園長・主任がおこなう。見学については事前に電話にて受け付けており、パンフレットを渡しながら園内を案内し、保育の様子を見ていただきながら施設や保育内容の説明をおこなっている。入園希望の場合は、事前の見学を市として進めているため、入園にあたっての具体的な内容についても丁寧に申し渡すようにしている。また、質問にも丁寧に答える事を心がけている。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント)			
入園説明会は入園前に個別でおこなっている。また、説明会は園児とともに来てもらい、園の理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明し、資料をお渡しして持ち帰り読めるようにしている。同意書については説明後、更にご家庭で読んでいただき、同意していただける場合は、同意書にサインし提出してもらう。教育及び保育内容に関する説明の際に出た保護者の意向については、記録化し、確認しており、改善事項でできることについては対応している。			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント)			
全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。また、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。見直しについては年間反省の際に、各年齢別の反省をもとに確認をおこなっているが、こどもの背景や家庭、地域の実態を考慮した内容など、近年の新たな課題に目を向け、見直ししていく姿勢も望まれる。			

19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要な子どもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント)			
全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されており、乳児及び3歳未満児については個別の計画が作成され、要支援児等、配慮が必要な児童についても個別計画が作成されている。計画は発達の連続性や季節の変化などに即した内容になっており、発達を見通した環境設定もおこない、玩具の種類や設置する高さなど各クラスで工夫されている。環境の計画は他に室内環境・園外環境計画があり、各指導計画の振り返りは会議等で定期的におこなっている。			
20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場所が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
(評価コメント)			
こどものやりたいことは十人十色で当たり前と捉え、こども一人ひとりの言葉や表情に目を向け、遊びたい物がじっくりでき、やりたいことが実現できるよう援助する姿勢で保育している。また、発達や興味関心にあった環境作りにも心がけ、そのためにこども一人ひとりの状況を把握するべく、職員間で情報共有をしている。さらに遊びの継続性や盛り上がりも大切にしている。事例として、3歳以上児クラスで盛り上がっている廃材を使った製作遊びでは、保護者に協力してもらいながら廃材を集めており、遊びの継続ができるよう、翌日も作れるような保管場所が確保している。			
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
こども一人ひとりを大切に、生活面では担当制を取り入れて安定的な関わりの中で安心した生活ができるようにしている。また、個別のカリキュラムを立てながら見通しを持った関わりに心がけ、例えばハイハイができそうな子には、手に取りたくなるような目線に玩具を設定するなど、発達を促す環境を整えている。また、職員はこどもへの関わり方について、食事会などでその子の食べ具合とともに発達の状況やおこなうべき配慮について共有している。室内は広く、十分にハイハイ等ができる空間があり、時間帯を確保した園庭利用で安心して体を動かす機会を設けている。			
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周知の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
生活や遊びの中でこどものやりたいことを大切に、一人ひとりの小さな成功体験を十分に褒めながら日々を積み重ねている。特に生活面では職員間の連携を大切に、ゆとりを持って一人で靴を履こうとする姿などをゆっくり見守れるよう配慮している。自我の芽生えによるこども同士のトラブルについては、一方的に決めつけず互いの思いを言語化して取りながら、少しずつ相手の思いにも気づけるように配慮している。また、探索活動が盛んなため、室内外において遊び込める時間を確保し、発達や興味関心に合わせた環境作りをその都度心がけている。			
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
基本的な生活習慣については縦割り生活の中で、見たり真似たり、大きい子が小さい子の面倒を見る積み重ねを通して、こども自らやろうとする意欲を大切に育てている。3歳児に関しては必要に応じて個別の配慮もおこなっており、褒めることを意識して見守っている。こども一人ひとりの興味関心により沿いながらこどもの求めている物にしっかり応える事で主体的な遊びが発展し、3歳以上児のハロウィン遊びにおいてはこどもの力で遊びきる姿が見られた。同じ遊びに興味を持っている子同士についてはさりげなく気づかせながら友だち関係が広がるようにしたり、興味のある遊びを更に深めて学びに繋がるよう援助している。			

24	身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
<p>(評価コメント)</p> <p>ベランダで、にんじんや小松菜などの野菜の栽培をおこなっており、先日は庭の花壇で作ったサツマイモを収穫した。栽培を通して成長過程や葉の形の変化に気づくなど、学びの機会を大切に見守っている。散歩では職員が手本となって挨拶する事でこどもも近隣住民との自然な交流の姿が見られている。季節や社会行事に触れる機会も大切にし、職員がさりげなく室内に置いた行事の絵本などからこども自身が気づき遊びに発展する姿も見られる。七夕ではこども発信で七夕紙芝居を作り上げ、当日に友だちの前で読む姿がみられている。</p>		
25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども同士で解決するように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 異年齢のこどもの交流が行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>異年齢保育を取り入れる中で、職員はこども一人ひとりの得意な事を把握して共有し、こども同士で教え合う機会を作っている。みんなの中で認められる経験は次への意欲やチャレンジする気持ちに繋がっており、やりたい気持ちに寄り添いながらじっくり遊べる時間を大切にしている。こども同士のトラブルについては職員が決めつけず、互いの話をよく聞きながら思いを受け止め、こども同士で解決できるようアドバイスをしている。遊びや生活の中のルールや当番についてはこども達が話し合いで決めており、手遊び当番、床掃除当番、水やり当番等は、日々の中で楽しみながらおこなう姿が見られる。</p>		
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関わりに対して配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>小さいころから共に生活しているため、配慮が必要な子どもたちは自然に受け入れられている。前期と後期に分けて個別支援計画を作成し、成長の児童票に定期的に経過を記録し、確認を行っている。市の発達相談や巡回指導を通じて具体的なアドバイスを受け、そのアドバイスに基づいて支援を取り入れ、職員間で共有し、同様の対応ができるよう努めている。支援に関しては面談を通じて家庭の思いを丁寧に聞き取り、子どもを中心に据えた支援に取り組んでいる。</p>		
27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当職員の研修が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なるこどもが一緒に過ごすことに配慮している。
<p>(評価コメント)</p> <p>子供たちの心身の負担を軽減するために、特定の保育士を配置している。担当の保育士が変更される際には、前日の情報、受け入れ時の情報、日中の様子を引継ぎノートに記録し、必要に応じて保護者に説明を行っている。また、子どもたちの保育室の移動をできるだけ少なくし、遊び慣れた環境の中で日中の遊びが継続できるよう努めている。0歳児については、朝夕自室で過ごせるように職員配置に取り組んでいる。保育者との情緒的なつながりを大切にしており、担当職員には子どもへの声のかけ方など、心の安定への配慮を伝えている。</p>		
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>連絡帳アプリや登降園時の会話を通じて、家庭における睡眠、食事、体調や機嫌などの情報を得ている。保護者会では、子どもたちの様子をスライドショー形式で紹介したり、テーマを設定して保護者同士で意見交換を行ったりしている。保育参観後には、希望者に対して個別面談を実施している。外国籍家庭や支援が必要な家庭には、担任が声をかけて面談に繋げている。個人面談や保護者会で話合った内容、また保護者からの意見は、必ずクラス内で共有し、その後主任や園長に報告している。</p>		
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などを保育所等から小学校へ送付している。
<p>(評価コメント)</p> <p>中学生による体験学習が行われている。生徒たちは子どもたちと一緒に一日遊んだり、職員に質問をすることで、保育園や保育士の仕事についての理解を深めている。就学に向けて、年長児は小学生との交流会に参加し、子ども同士の交流を促進している。施設長は小学校の評議員として、年間を通じて地域の課題を共有し、課題解決に向けた意見交換を行っている。個人情報に配慮しながら、保育所児童保育要録を小学校に送付し、保育園で培った生活習慣や社会性を小学校生活に結びつけている。</p>		

30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント)			
不自然なあざや引っ掻き傷などが繰り返し見られるなどの身体的なサインや落ち着かないなど心理的な変化があれば、園内で共有し主任や園長に報告し、関係機関と連携できる仕組みが整っている。家庭での不適切な養育の兆候が見られる際には、親に寄り添い話を聞き、支援を行うことで虐待につながる手前でとどめるよう、園全体で取り組んでいる。虐待の懸念が認められる場合には、家庭児童相談室や児童相談所と連携を取り、子どもの安全が確保できるよう園全体で努めている。			
31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント)			
子どもの健康状態については、前日からの体調不良者や朝の引継ぎ、連絡帳アプリを通じて確認し、把握している。また、看護師が9時、食事の時間帯、昼寝から起きた後の3回にわたり視診を行い、活動時の子どもの様子について担任と情報交換をしながら子どもの健康観察を行い、気になる点があれば迅速に対応している。SIDSに関する知識は職員向けに新年度の会議で周知し、0才児の保護者には入園説明会や新年度の保護者会の際に仰向け寝の重要性について説明し、家庭でも徹底するよう依頼している。			
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント)			
保育中に体調不良や傷害が発生した場合、子どもの状態や保護者の職場の距離、在宅勤務の状況に応じて連絡し、その後の対応について助言を行っている。感染症が拡大している際には、速やかに保健所や嘱託医と連携し、適切な対応を実施している。また、感染症ボードを通じて園内や周辺の感染状況を保護者に通知し、感染症の拡大や発生の予防に協力をお願いしている。感染や疾病が発生した場合には、感染症対策物品を使用し、迅速に対応できるように物品の配置を行い、平時から職員研修でシミュレーションを実施している。			
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちがつよように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人ひとりのこどもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント)			
食育年間計画は、保育士の中で食育を担当する者と栄養士が共同で作成し、栽培、クッキング、栄養指導などを子どもの発達段階に応じた内容で年間を通じて実施し、食に対する興味や関心を育むよう努めている。栄養士と調理員は交代でクラスを巡回し、子どもたちの喫食状況を把握し、それを調理の参考にしている。夏には夏野菜、冬には冬野菜を栽培し、収穫物を用いてピザやスイートポテト、野菜の塩もみなどを子どもたちが調理し、食べる体験をしている。食物アレルギーや偏食等食への課題が見られる場合は看護師、栄養士、保育士が連携して対応している。			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント)			
保育室の温度と湿度は日誌に記録されており、必要に応じて空調の調整や加湿器、空気清浄機を使用して適切な環境を維持するよう努めている。園庭や室内の環境係が中心となり、室内外の整理、整頓など環境整備の点検と維持を行っている。園に訪れる保護者や訪問者には、園舎に入る際に手洗いをお願いし、感染源の侵入防止に努めている。子どもたちには看護師が専用の機器を使用して手洗いの指導を行ったり、子どもたちが見える場所に手洗いの方法を絵で示した掲示を行ったり、職員が一緒に手洗いを行ったりして習慣付けをしている。			
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所等の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント)			
環境係と安全係が中心となり、園内の環境整備や安全点検を行っている。看護師が主導し、ヒヤリハット検証の重要性を全職員に周知し、小さな問題を見逃さずに立ち止まって考え、改善に取り組んでいる。受診が必要な保育中の怪我については、関与した全職員で書類を作成し、原因を追及し、再発防止に向けた対策を検討している。外部からの不審者対策として、玄関のオートロックや子どもが参加する避難訓練を実施している。			

36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント)			
<p>浸水が予想される地域であるため、あらゆる水害を想定したシミュレーションを実施し、避難誘導訓練を行ったり、避難先の受け入れ契約を結んだりしている。また、行政が実施する事業継続研修に参加した職員は、その内容を全職員に伝え、緊急時に正しい判断ができるように備えている。消防署との総合避難訓練では、通報、避難、消火の方法について指導を受けている。防災の日など年に2回、保護者を巻き込んで伝言ダイヤルを使用した訓練を実施している。</p>			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
<p>地域交流に関するお知らせを市のホームページに掲載し、ポスターを門にも掲示している。地域交流では、看護師による冬の感染症対策に関する講話や、栄養士による離乳食講座と試食会を実施している。園庭開放は毎週水曜日に行われており、在園児と触れ合う時間としている。近隣には地域交流支援センターが存在するため、利用者は少ないが、利用者には積極的に声をかけ、質問には丁寧に対応している。転居してくる家庭が多いため、保護者の不安や孤立を和らげる支援を強化していくことを期待する。</p>			